

# 箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進検討会

## < 第3回 資料 >

---

平成27年(2015年)10月27日

## 目次

<u>1 箕面市人口ビジョン</u>	・・・P. 1
1-1 箕面市人口推計のパターン	・・・P. 2
1-2 人口推計の結果	・・・P. 3
1-3 人口の将来展望	・・・P. 4
1-4 将来展望の目標設定	・・・P. 5
1-5 将来展望	・・・P. 6
<u>2 箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略</u>	・・・P. 7
2-1 総合戦略の構成と策定基本方針	・・・P. 8
2-2 PDCAサイクルの確立	・・・P. 9
2-3 基本目標と施策の方向性	・・・P. 10
2-4 目標Ⅰ 新たな価値を産み出す成長産業を創出する	・・・P. 11
2-5 目標Ⅱ 箕面へ大きなひとの流れを生み出す	・・・P. 12
2-6 目標Ⅲ 安心して子育てができ、子どもがのびのびと 育つまちをつくる	・・・P. 13
2-7 目標Ⅳ 地域が連携し、だれもが安心・安全に、 いきいきと暮らせるまちをつくる	・・・P. 14

# 1. 箕面市人口ビジョンについて

## 1-1 箕面市人口推計のパターン

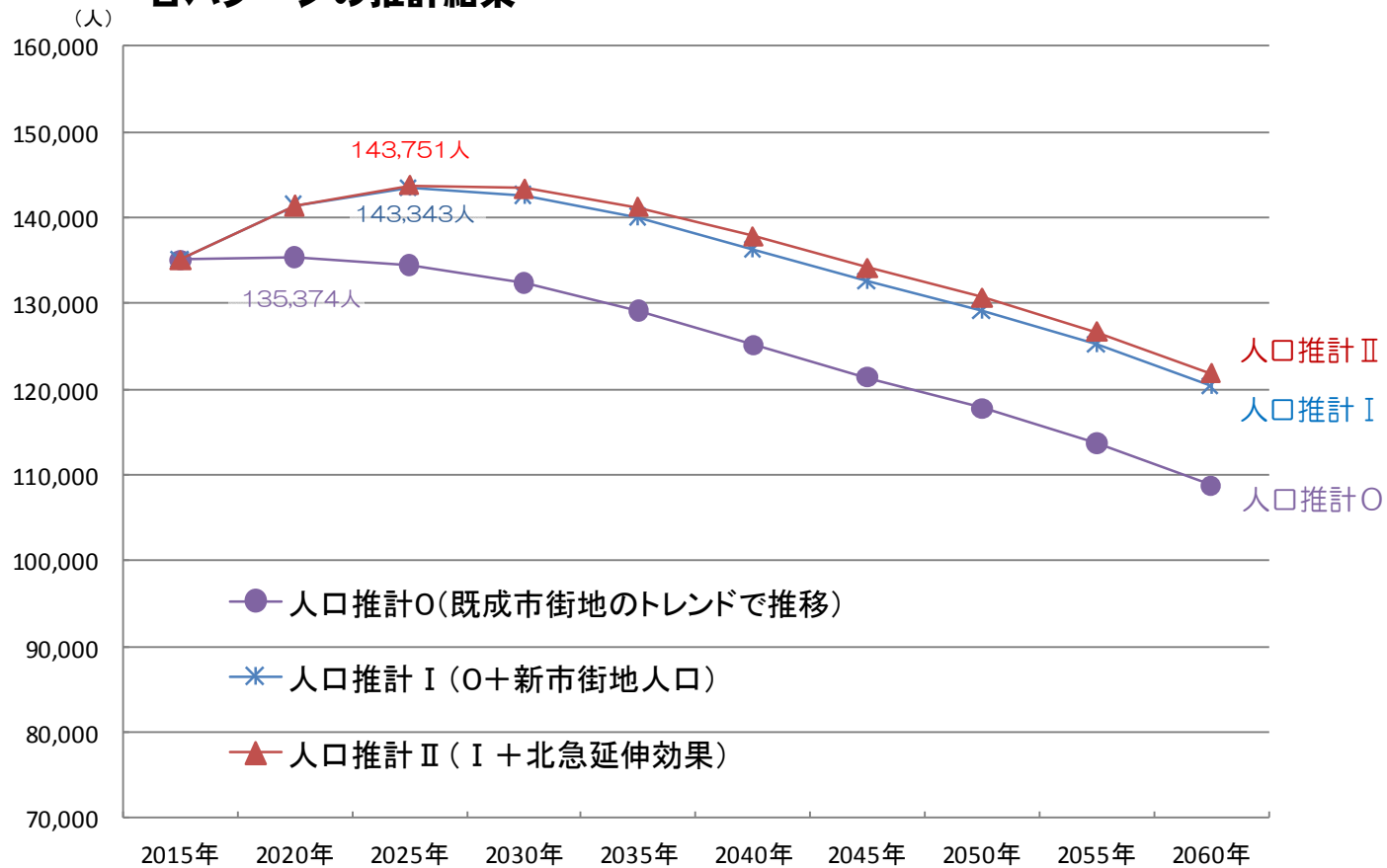
### 箕面市人口推計のパターンと主な設定について

以下の3パターンを仮定して、人口推計を実施しました。

パターン名	設 定			
	新市街地の 計画人口	北急延伸効果	純移動率	出生率
<b>人口推計0</b> 既成市街地のトレンドで推移	考慮せず	考慮せず	2010年→2015年の移動実績から設定 ※人口変化が極端な値（変動幅が20%超） の地区・町については補正し、急激な変化を 緩和	社人研の仮定値
<b>人口推計I</b> 推計人口0+新市街地人口	反映	考慮せず	同上	同上
<b>人口推計II</b> 推計人口I+北急延伸効果	反映	反映 プロジェクト・ アウトラインの 人口を加算	同上	同上

# 1-2 人口推計の結果

## 各パターンの推計結果



推計パターン	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
人口推計O	135,063	135,374	134,413	132,341	129,148	125,122	121,336	117,745	113,656	108,775
人口推計I	135,063	141,338	143,343	142,509	139,942	136,181	132,516	129,078	125,133	120,304
人口推計II	135,063	141,338	143,751	143,330	141,178	137,827	134,152	130,683	126,694	121,813

## 1-3 将来展望の考え方

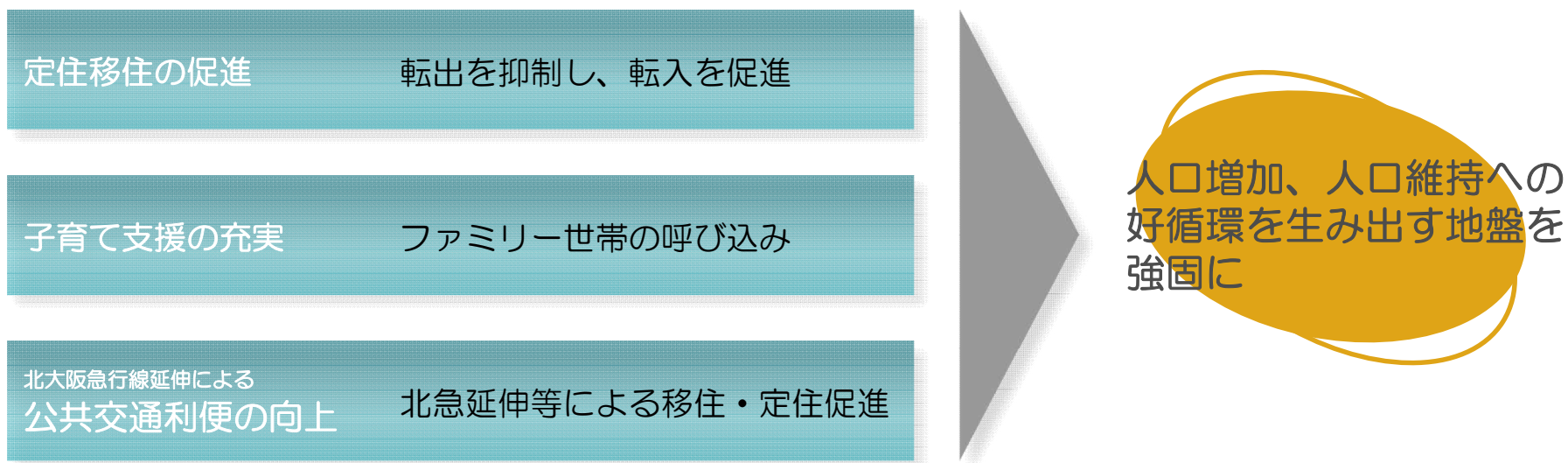
### 将来展望

▶人口推計を受け、今後の施策による効果などを踏まえた将来人口を展望します。（将来展望）

子育て施策の効果的な実施により、子育て世代の流入促進、出産しやすい環境の整備など、人口増の好循環を生み出し、また、北大阪急行線の延伸とそれに伴うバス路線網の再編による公共交通利便性の飛躍的な向上など、住宅都市の魅力が格段に高まることにより、今後も人口が増え続ける地盤をより強固にし、人口増加・人口維持へ繋げていきます。

### 主に盛り込む施策効果

近年の人口増のトレンドを継続し、まちの魅力を向上させながら、今後も人口増の好循環を生み出します。



『箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略』では、上記、将来展望の実現に向け、当面の5年間でめざすべき政策・施策の基本的方向やその柱立てをとりまとめます。

# 1-4 将来展望の目標設定

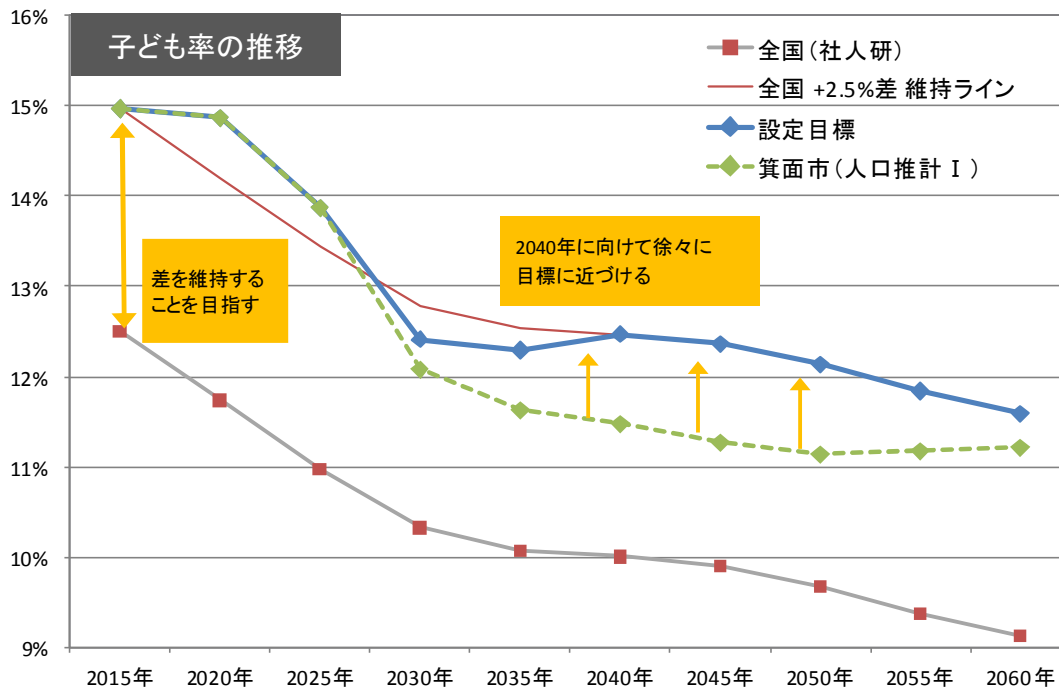
近年、箕面市では子育て世帯の流入が増加していることから、総人口に対する子どもの割合（以下「子ども率」という。）が、全国と比べて高くなっています。（2015年現在で、箕面市が全国を2.5%上回っている。）

将来展望人口の設定にあたり、現在高いレベルにある子ども率を将来的にも維持することを目標とし、将来にわたって活力のあるまちを目指します。

★ 子ども率 = 0-14歳人口 / 総人口 （総人口における年少人口の割合）

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
箕面市（人口推計Ⅰ）	15.0%	14.9%	13.9%	12.1%	11.6%	11.5%	11.3%	11.1%	11.2%	11.2%
全 国（社人研推計）	12.5%	11.7%	11.0%	10.3%	10.1%	10.0%	9.9%	9.7%	9.4%	9.1%
全国との差	2.5%	3.1%	2.9%	1.8%	1.6%	1.5%	1.4%	1.5%	1.8%	2.1%

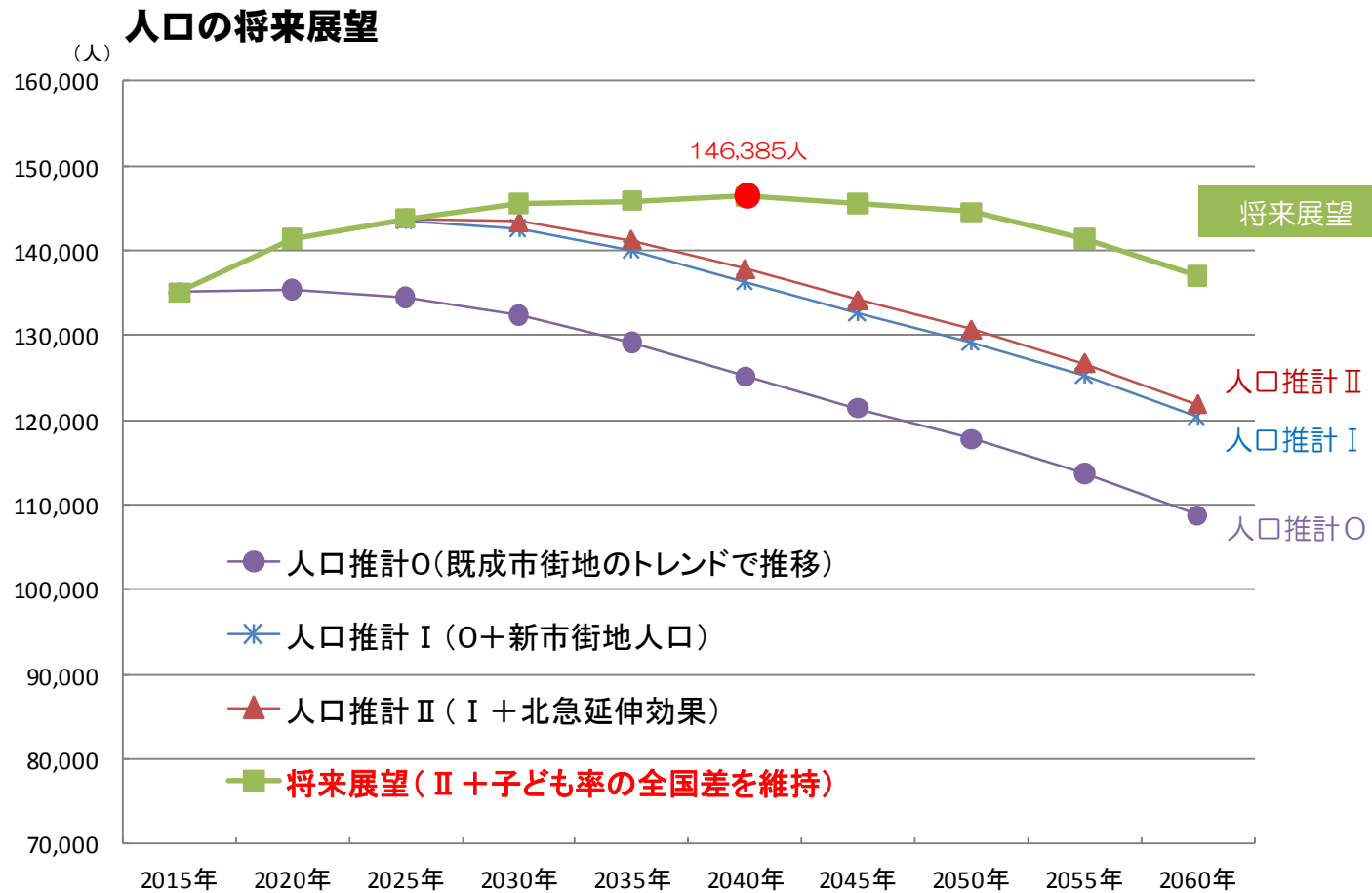
目標：2015年の全国差（2.5%）を将来的にも維持する



## 将来展望への反映

- ◆2025年～2030年にかけて子ども率が落ち込むのは、主に子育て世帯が流入している新市街地への人口の定着が一定おさまるため
- ◆子ども率が目標を下回る2030年以降、10年程度かけて、2040年に全国差2.5%に回復するよう目標を設定
- ◆左グラフの設定目標（青線）を満たすように将来人口を算出
- ◆子ども人口の増加に加え、その親世代（20代後半～40代前半）の増加も見込み、子ども率が目標を達成するよう設定

# 1-5 人口の将来展望



推計パターン	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
人口推計O	135,063	135,374	134,413	132,341	129,148	125,122	121,336	117,745	113,656	108,775
人口推計 I	135,063	141,338	143,343	142,509	139,942	136,181	132,516	129,078	125,133	120,304
人口推計 II	135,063	141,338	143,751	143,330	141,178	137,827	134,152	130,683	126,694	121,813
将来展望	135,063	141,338	143,751	145,516	145,781	146,385	145,493	144,522	141,321	136,997



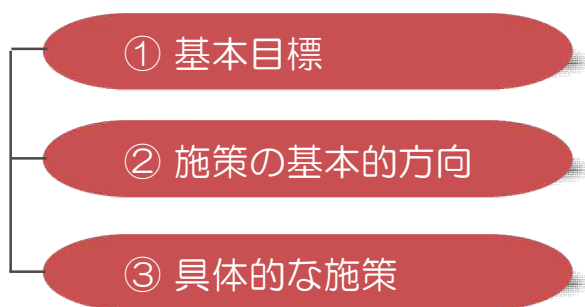
## 2. 箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 2-1 総合戦略の構成と策定基本方針

### 地方版総合戦略の骨組み

- まち・ひと・しごと創生法に基づき策定し、策定にあたっては国・都道府県の総合戦略を勘案する。
- 内容としては、大きく以下の3点で構成される。
  - ①目標、②講ずべき施策に関する基本的方向、③その他必要な事項（具体的な施策）
- 基本目標及び具体的な施策における数値目標を設定する。

### 地方版創造戦略の基本的構成



### 数値目標・重要業績評価指標(KPI)の設定

- ▶基本目標における数値目標  
：政策分野ごとに5年後の数値目標
- ▶具体的な施策における数値目標  
：各施策に対して客観的なKPIを設定

#### 重要業績評価指標（KPI）

Key Performance Indicator の略称。  
施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

### 戦略策定の方針

- ▶本市においては、平成20年を境目に毎年、人口が安定的に増加してきています。
  - ▶大阪府全体の推移を見ると「ほぼ横ばい」が近年のトレンドとなっており、人口の伸び率が高い上位各市でも直近6年間で1~2%の増加率に留まっている中、箕面市は直近6年間で約6%という非常に高い人口増加率となっています。
  - ▶魅力あるまちづくりを進める中、とりわけ「子育てしやすさ日本一」を標榜に子育て支援の充実を図り、子育て世帯の移住定住を促進するという、地方創生の趣旨に沿う取り組みをこれまでも実行してきており、その効果がしっかりとあらわれてきています。
- ▶ 上記の現状を踏まえ、この度、総合戦略の策定にあたっては、現在実施している施策を肯定しつつ、それらを戦略にまとめることを基本とし、加えて、地方創生に関する国の支援等を最大限活用しながら、地方創生の取り組みをさらに強力に推し進めていく内容を盛り込んでいくものとします。

## 2-2 PDCAサイクルの確立

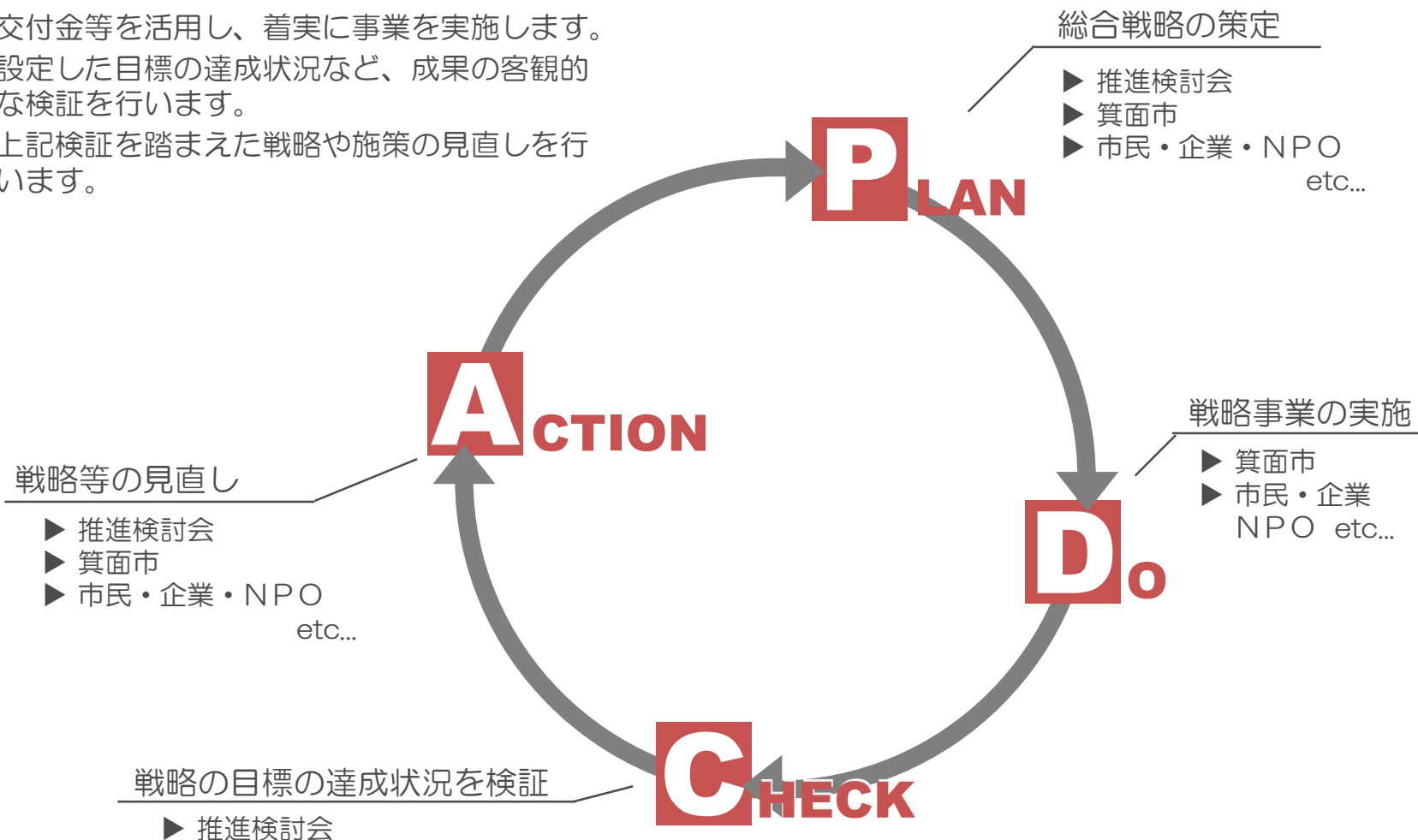
まち・ひと・しごと創生を実現するために、下記PDCAサイクルに留意して、総合戦略を策定、着実に推進していくこととします。

PLAN : 効果的な総合戦略を策定し、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を設定します。

DO : 交付金等を活用し、着実に事業を実施します。

CHECK : 設定した目標の達成状況など、成果の客観的な検証を行います。

ACTION : 上記検証を踏まえた戦略や施策の見直しを行います。



## 2-3 基本目標と施策の基本的方向（案）

### 箕面市人口ビジョンにおける将来展望の実現に向けて

『箕面市人口ビジョン』では、子育て施策の効果的な実施により、子育て世代の流入促進、出生率の向上など、人口増の好循環を生み出し、また、北大阪急行線の延伸とそれに伴うバス路線網の再編などによる公共交通利便性の飛躍的な向上など、住宅都市の魅力が格段に高まることなどにより、今後も人口が増え続ける地盤をより強固にしていくことし、それを実現するため、国の示す政策4分野ごとの本市の基本目標を設定します。

#### 目標Ⅰ 新たな価値を産み出す成長産業を創出する（産業・雇用）

##### 施策の 基本的方向

- (1) 最先端知的産業等の新たな集積地を形成
- (2) 起業創業を促す環境づくり
- (3) 広域連携も視野に入れたみどりを守り育む農林業の発展

#### 目標Ⅱ 箕面へ大きなひとの流れを生み出す（移住定住促進・観光）

##### 施策の 基本的方向

- (1) 多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成
- (2) 着地型観光の推進による四季を通じた観光客の集客を促進
- (3) 増加する訪日外国人観光客の獲得

#### 目標Ⅲ 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる（子育て・教育）

##### 施策の 基本的方向

- (1) 安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実
- (2) 確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実
- (3) 子どもがのびのびと遊び、学べる環境づくり

#### 目標Ⅳ 地域が連携し、だれもが安心・安全に、いきいきと暮らせるまちをつくる（高齢・防災等）

##### 施策の 基本的方向

- (1) より災害・犯罪に強いまちづくりの促進
- (2) だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実
- (3) 交通ネットワークの充実

## 2-4 目標Ⅰ 新たな価値を産み出す成長産業を創出する

### 目標Ⅰ

### 新たな価値を産み出す成長産業を創出する（産業・雇用）

今後、人口減少・高齢化などに伴い市場も大きく変化していくことが予想される中、既存の商業の発展のみならず、新たな価値を生み出す産業の集積を図ると同時に、創業を促すことで、強い産業基盤の創出、市内産業の活性化を図ります。

また、箕面の大きな魅力である「みどり」を守り育む農林業の発展を図り、地域に根ざした産業の維持・活性化を目指します。

数値目標	基準値	目標値(H31)
創業比率	2.34% (2009-2012年)	5.00%
農業公社の自立	-	収支均衡

#### 施策の基本的方向(1)

#### 最先端知的産業等の新たな集積地を形成

バイオ・医薬・食品・コスメ・ヘルスケア等をはじめとする様々なライフサイエンス分野の研究・技術開発機能等を持つ施設の集積を目指す彩都地域や、北大阪急行線の延伸により生まれる圧倒的に優れた交通利便性「地の利」と、周辺に集積している医療・バイオ関連施設が生み出す「知の利」が揃う船場地域などに、最先端知的産業等の集積を強力に図っていきます。

##### 施策例

- 大阪大学サイエンスパーク構想
- バイオ医療関係施設の誘致
- ベンチャー企業創業支援

#### 施策の基本的方向(2)

#### 創業を促す環境づくり

市内産業の活性化・新たな雇用の創出を図るため、潜在的な創業希望者が積極的に創業できるような環境づくりを進めます。

##### 施策例

- 新規創業支援融資の斡旋
- 創業に係る相談窓口の設置

#### 施策の基本的方向(3)

#### 広域連携も視野に入れたみどりを守り育む農林業の発展

農業や林業の発展を支え、箕面の大きな魅力である「みどり」を守り育てていきます。特に、農業が産業として成り立つような仕組みづくりを進め、都市部に残る貴重な田園風景を守っていきます。なお、広域連携も視野に入れ、農林業の発展も目指します。

##### 施策例

- 農業公社の自立支援
- ゆず産地支援事業

## 2-5 目標Ⅱ 箕面へ大きなひとの流れを生み出す

### 目標Ⅱ

箕面へ大きなひとの流れを生み出す（移住定住促進・観光）

魅力あるまちづくりを進め、住宅都市としての「箕面ブランド」の価値向上を図ると同時に、強かにPRしていくことで市内外の「箕面に住みたい・住み続けたい」機運の醸成を目指します。  
また、「紅葉の箕面」だけではない、四季を通じた箕面の魅力発信及び訪日外国人観光客の獲得を通じ、箕面への来訪者数増を目指します。

数値目標	基準値	目標値（H31）
定住人口の増加	135,063人 （H26）	140,000人
観光客数の増加	1,700,000人 （H24）	1,785,000人

#### 施策の基本的方向(1) 多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成

住宅都市としての魅力向上を図ると同時に、その魅力を内外に強かにPRしていくことで、「箕面に住みたい・住み続けたい」機運を高め、移住・定住人口の増加につなげます。

##### 施策例

- 移住・定住を促進
- シティプロモーションの積極的な展開
- 地域の新たな魅力を創造

#### 施策の基本的方向(2) 着地型観光の推進による四季を通じた観光客の集客を促進

秋の箕面大滝に観光客が集中する現状に対し、他の季節や他の場所にも観光客を誘致できるよう、箕面ならではの体験プログラムの開発や観光資源の掘り起こし、旬の情報発信など「着地型観光」の推進により、観光客の市内回遊性を高めるとともに、年間を通じた観光客数の増加を図ります。

##### 施策例

- 着地型観光の推進
- 新たな観光資源の開発
- 集客イベントの開催

#### 施策の基本的方向(3) 増加する訪日外国人観光客の獲得

近年、訪日外国人観光客数の増加が著しく、関西圏においても京都や奈良、大阪市内での滞在が急増する一方で、箕面の認知度はまだまだ低いことから、箕面の魅力について効果的な情報発信を行っていきます。あわせて、案内表示の多言語化など受け入れ環境を整え、来訪する外国人観光客数を増加させます。

##### 施策例

- 国外へのPR
- 外国人観光客の受け入れ環境の充実

## 2-6 目標Ⅲ 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる

### 目標Ⅲ

安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる（子育て・教育）

まち全体で、子どもがのびのびと育つことのできるまち、安心して子どもを育てることのできるまちを目指します。

また、子どもが、自ら「生きる力」を身に付けることができるよう、保育所・幼稚園・認定こども園・小中学校、家庭、地域が連携するとともに、大人と子どもが互いに信頼し合える多様な人間関係づくりに努めていきます。

数値目標	基準値	目標値（H31）
子育てしやすいまちとされている市民の割合	77.7%（H25）	80%
保育所の実待機児童数	67人（H27）	0人

#### 施策の基本的方向(1)

安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実

子どもが心豊かに健やかに育つために、保健、医療、福祉、教育、労働、住宅その他の幅広い分野において、保育所・幼稚園・認定こども園・学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を果たし、強く連携しながら、安心して子育てができるまちづくりをめざします。加えて、子育てと仕事の両立が実現できる育児環境を整えます。

##### 施策例

- 実待機児童の解消
- 各種保育の充実（延長、病児保育等）
- 幼児・児童・生徒の交流の促進

#### 施策の基本的方向(2)

確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力とともに、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心等の豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力等の生きる力を身につけることができる取り組みを進めます。

##### 施策例

- 小中一貫教育の推進
- 英語教育の充実
- 箕面子どもステップアップ調査の実施

#### 施策の基本的方向(3)

子どもがのびのびと遊び、学べる環境づくり

子どもは、自由にのびのびと遊ぶ中で、自然や社会のルール、人間関係を学んでいきます。子どもの成長や安全に配慮しながら、子どもの自主性や感性を育むことができる遊び場を確保していきます。また、豊かな自然環境を活かした遊び場づくりも、市民との協働により進めていきます。

##### 施策例

- 放課後の学校の活用
- 世代間交流の推進
- 子どもの居場所の提供



## 2-7 目標Ⅳ だれもが安心・安全に、いきいきと暮らせるまちをつくる

### 目標Ⅳ

地域が連携し、だれもが安心・安全に、いきいきと暮らせるまちをつくる（高齢・防災等）

自治会を中心とした地域コミュニティを軸に、だれもが安心・安全に、いきいきと暮らせるまちを目指します。

ハード・ソフト両面の対策を進め、より災害・犯罪に強いまちを目指します。また、高齢者から子どもまで、病気の予防と健康づくりに関心を持ち、加えて、多世代交流や障害者が働く事業所への地域支援を促進するなど、市民全員がいきいきと元気に活動ができるまちを目指します。

数値目標	基準値	目標値（H31）
災害に備えて対策を取っていると考える市民の割合	65%（H25）	95%
自分が健康であると感じる市民の割合	77%（H27）	81%

### 施策の基本的方向(1) より災害・犯罪に強いまちづくりの促進

地震や風水害などの自然災害による被害を最小限に抑え、市民の生命・財産を守るため、災害危険箇所等への対応とともに、地区防災委員会や自治会などを中心とした地域防災力を高め、災害に強いまちづくりを進めます。また、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、地域の方々による見守り活動と一体となって、犯罪が起こりにくいまち、犯罪を許さないまちの実現に向けた取り組みを進めます。

#### 施策例

- 地区防災委員会への支援
- 全市一斉総合防災訓練の実施
- 防犯カメラの設置促進

### 施策の基本的方向(2) だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実

元気な高齢者が、その元気を維持・増進し、健康で生きがいを持って、はつらつと活躍・活動できる「健康長寿のまちづくり」を進めます。また、地域において、様々な世代の市民がふれあう機会を創出し、多世代交流を活発化させます。さらに、障害者が働く事業所について、地域での認知度を高め、協力・応援する関係づくりを進めます。

#### 施策例

- 元気な高齢者の健康長寿の推進
- ラジオ体操会場の増加
- 多世代交流センターの充実

### 施策の基本的方向(3) 交通ネットワークの充実

住宅都市として魅力向上に必要な要素である交通利便性の向上を図り、また、様々な人の外出機会を促すため、鉄道・バスをはじめとする公共交通から、道路交通、自転車道・歩道など、交通全般に係るネットワークの充実を目指します。

#### 施策例

- 北大阪急行線の延伸
- バス路線の再編
- 移動困難者への移動支援の充実